

令和3年度 第2回 学校運営協議会議事録

令和3年12月7日(火) 13:30~15:15

学校運営協議会委員

鑪 英治 (横浜平沼高等学校 校長)
平野 周二 (横浜市西区第5地区自治会連合会 会長)
遠山 満 (横浜市立岡野中学校 校長)
加藤 善浩 (相鉄ビルマネジメント営業企画部 課長)
脇本 健弘 (横浜国立大学 教職員大学院 准教授)
池 俊介 (早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授)
ジギャン クマル タパ (かながわ国際交流財団 グローバル人材育成グループ)
加藤 廉 (横浜平沼高等学校 同窓会真澄会 会長)
三浦 里美 (横浜平沼高等学校 PTA 会長)

本校職員

学校長 鑪 英治
副校長 吉野 哲也
教頭 佐藤 文美
事務長 島崎 理恵子
総括教諭 富田 泰夫 (教務・情報)、一柳 浩一 (研究開発)、岡田 宏 (進路)
中内 博子 (総務)、馬上 真史 (生徒会)、長妻 令子 (生活)

本会議欠席者 池 俊介

司会 (佐藤教頭)・・・開会

1 校長挨拶

本日は授業見学と県教育委員会から定義された「スクール・ミッション」を受けて、学校で作成したスクールポリシー(案)を見ていただき、この2つについて協議していくことになる。

事務長自己紹介

2 報告・連絡事項

- (2) 新型コロナウイルスの感染防止に伴う本校の対応
 - 4月から時差登校(30分)を実施、
 - 8月後半~9月は分散登校、オンライン授業も実施
 - 10月は時差登校(30分)を実施
 - 現在通常登校
 - 今年度の修学旅行は来年1月に延期
 - 5月体育祭、7月文化祭は趣向を凝らして通常とは違う形式で実施。
 - 11月先輩セミナー実施

質問 加藤廉：現在はほぼ通常となっているのか？

回答 → 感染対策をしながらできることをやっている

(3) 今後の予定

第3回(3月頃)のご案内

生徒による授業評価（後期）

令和4年度高校入試情報

第三者評価（2年間）の報告

学力向上進学重点校エントリー校としての取り組み

グローバル教育研究推進校としての取り組み

令和3年度各部会の取り組み

生徒の活動報告

ハンドボール部	9年連続関東大会出場 国体（中止となったが）強化選手3名選出 秋大会 県大会3位
弓道部	個人戦 関東大会1名出場 チームとして、あと一步で出場するか
ダンス部 かるた部	関東大会出場し、全国目指して活動中 団体戦、個人戦 上位大会に出場

- (1) 令和3年度第 一回「生徒による授業評価」集計結果
一柳 T より 資料3、4 ページ

3 授業見学

資料7 ページ 1・2年生の授業見学

4 協議

- (1) 学校評価中間報告 資料1・2 ページ

富田 T 1 学習指導 ICT 研修（5月12日）、活用（6月実施）双方向授業

長妻 T 2 生活指導 黙食を継続して実施

異学年生徒についての対応は今後の課題

地域連携として災害時マップの確認

岡田 T 3 進路 Hi-ゼミ 15講座 500人を超える

スタディショップ 45講座 受講者1223人 実質781人

公募推薦 国公立3名合格 農工大、岩手大、横国大

馬上 T 2 生徒会 G 体育祭は生徒主体で実施、地域貢献活動 11月実施

保土ヶ谷分教室と体育祭競技での交流

加藤善 西口商店街の皆さん、250人との交流が励みになっている。生徒の感想や意見を地元に還元していただきたい。

→これからアンケートを実施してお伝えしていく。

- (2) スクールミッション

資料5 ページ 県からのスクールミッション

前回の指摘を受け、②の「学校の歴史と伝統を生かした」という文言が加筆。

資料6 ページ スクールポリシー(県立高校で統一)

伝統校、進学校、グローバル推進校という視点が含まれる

3アドミッションポリシーは入学者に期待する生徒像

ジギャンクマル タパ氏

授業印象が変わってきている。とても生徒たちも積極的でした。

英語は発音より対話や内容にフォーカスしてもいいかも。

三浦氏

双方向授業の様子はとても良い。

留学生をサポートする生徒の様子が印象的

加藤廉氏

スクールポリシーの歴史や伝統の反映は嬉しい。

授業の風景はとても変わっていた。グループ活動は新鮮。自分たちで関心を持てるような配慮が見られ、授業へ取り組み易いのではないか。

タイマーやスマホを使用するという授業が印象的であった。

加藤善氏

皆で授業を作っていく雰囲気が良い。板書をさせて問いを考えていく授業が良い。

記録 総務 G：日野